

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	776-1262
部名	生涯学習部	課名	生涯学習課	課長名	佐藤
事務事業名	相模原市民ギャラリー運営費（自主企画展経費）				
予算上の事務事業名	相模原市民ギャラリー運営費（自主企画展経費）				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		16110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第1節 多彩な市民文化の振興				事業開始年度
施策名	第1施策 豊かな市民文化の創造				平成9年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立相模原市民ギャラリー条例・相模原市立相模原市民ギャラリー条例施行規則 ・美術専門員設置要項・相模原市立相模原市民ギャラリー運営協議会設置要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		▼		
5 事業概要	<p>（1）事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）</p> <p>市民に優れた美術作品の鑑賞機会を提供することにより、本市の芸術文化のさらなる振興を図る機会とする。</p> <p>（2）対象（誰、何）</p> <p>一般市民</p> <p>（3）平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p> 展覧会名 市制50周年記念「相模原を愛した日本画家－吉川啓示展」の開催 会期 平成16年11月6日～12月5日（28日間） 作品数 63点 入場者数 3,114人（1日当 111.2人） 講演会開催 1回（参加者 50人） ギャラリートーク開催 2回（参加者 53人） </p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	他にもそれぞれ美術館をもつ市町村を中心に様々な展覧会が開催されているが、形態が多様であるため一概に比較することはできない(特に今回の展覧会と同規模の吉川啓示展が開かれたことは本市でも他市にも過去にない)。しかし展覧会の内容としては他市のそれを比較しても遜色ないものと思われる。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	10,051	6,705	6,741	8,352	8,352
一般財源	8,330	5,801	6,131	7,302	7,302
受益者負担金	1,721	904	610	1,050	1,050
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	4,196	3,204	3,228	3,228	3,228
事業コスト合計(a)	14,247	9,909	9,969	11,580	11,580
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	自主企画展			対象名称(単位)	一般市民(人)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	14,247	9,909	9,969	11,580	11,580
対象数	610,000.0	620,000.0	620,000.0	620,000.0	620,000.0
単位あたり経費(円)	23	16	16	19	19
前年度比		0.68	1.01	1.16	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	1日あたりの平均入場者数 (人)	指標式と指 標の説明	合計入場者数÷開催日数 平均入場者数の推移を見る。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	7,799.0	3,033.0	3,114.0		
目標	32.0	38.0	28.0	32.0	32.0
目標達成度	243.72	79.82	111.21		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	総事業費に対する観覧料等収 入の割合(%)	指標式と指 標の説明	(観覧料・図録収入)÷総事業費×100 総事業費に対する観覧料等収入の占める割合を見る。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	215.0	925.0	571.0		
目標	14247.0	9442.0	9609.0	11580.0	11580.0
目標達成度	1.5	9.8	5.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 より効果的な広報活動の推進による入場者数の増加。具体的には学校教育の現場との連携など。			14 課題として認識されたこと 本市には広く市民に紹介すべく有能な作家が多く居住している。それらを対象とした展覧会を開催することにより、経費の負担が軽くなるばかりでなく、本市独自の芸術文化の創造が可能となることが認識された。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
			効果的な事業実施を推進する。		